

海賊対処の第17次派遣部隊がソマリア・アデン湾に向け出港

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第17次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第17次派遣水上部隊が、11月13日に呉基地を(広島)を出港した。

同部隊は、第4護衛隊司令(田尻裕昭1等海佐)の指揮の下、護衛艦「さみだれ」(斎藤貴艦長)及び同「さざなみ」(林泰弘艦長)、乗組員役400名(海上保安官8名同上)により編成され、現地到着次第、第16次派遣部隊の護衛艦「ありあけ」・「せとぎり」に代わり、護衛活動を開始することになる。また17次派遣部隊より従来の直接護衛(エスコート型)に加えCTF151(ゾーンディフェンス型)への参加が予定されている。

同基地で行われた出港行事では、若宮健嗣防衛大臣政務官及び池田徳宏護衛隊司令官より、派遣隊への訓示などが述べられた。

当協会からは、小野理事長、赤峯日本郵船専務経営委員他が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

(海務部 小山)

呉出国行事



田尻第4護衛隊司令ほか自衛隊幹部の隊員方々に訓示を行う若宮防衛大臣政務官



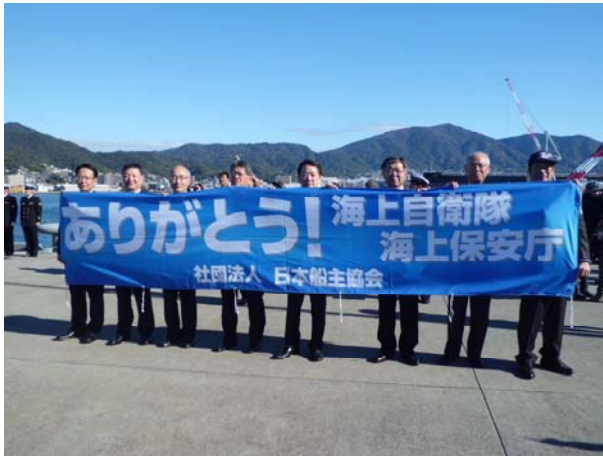
派遣隊員に訓示を行う池田徳宏護衛艦隊司令官



日本船主協会を代表し、来賓席で護衛艦隊を見送る
小野船主協会理事長と赤峯日本郵船専務経営委員



日本船主協会を含む関係団体から派遣部隊指揮
官らへ花束贈呈



横断幕で護衛艦を見送る日本船主協会関係者



出港する「さざなみ」



出港する「さみだれ」